

教育研究業績概要

氏名 森田 明広 ()				
研究分野		所属学会等の名称		
発生物学		日本薬学会、日本動物学会、日本蚕糸学会、日本昆虫学会		
担当授業科目名				
分子生物学、微生物学、ゲノム情報応用学、生物系薬学実習Ⅰ・Ⅱ、医療薬学演習Ⅰ・Ⅱ、薬学総合演習、薬学特別演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究				
教育上の能力に関する事項				
事項	年	概要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等 授業の工夫	2016～現在	毎回授業に対する小テスト・アンケートを実施し、次の授業で理解不十分な点を復習する。また、アンケート結果を公表し、要望等に対して対処する。 映像資料や身近な道具を用いて生命現象をより具体的に示し、理解を深める。		
2 作成した教科書、教材、指導書等 講義資料 生物系薬学実習Ⅰ・Ⅱ実習書 組織学資料	2016～現在 2010～現在 2011～現在	講義資料中の重要語句を講義中に記入させることで、強調している。 本学生物系教員の共著、本学実習用 本学実習用		
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等				
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事項	年	概要		
1 資格、免許、特許、受賞等 文部省認定・総務庁指定 現代統計実務講座修了 統計士 高等学校教諭一種免許(理科)	1991 1992	一般財団法人 実務教育研究所 大阪府教育委員会		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等				
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) ・岩波生物学辞典第5版 (ほか2件)	共著	2013	岩波書店、東京	運動・消化・循環関連項目 39項目 (編者) 巖佐庸・倉谷滋・斉藤成也・ (共著者) 相羽恵介・森田明広 ほか430名
(報告書等) ・ ・ ・				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文) ・ Glycyrrhizin and its derivatives promote hepatic differentiation via sweet receptor, Wnt, and Notch signaling. ・ Glycyrrhizin ameliorates melanoma cell extravasation into mouse lungs by regulating signal transduction through HMGB1 and its receptors. ・ Formation of neutrophil extracellular traps in mitochondrial		Morita, A., Omoya, Y., Kawanishi, S. ほか5名 Hiramoto, K., Morita, A., Kawanishi, S. ほか4名 Takishita, Y., Morita, A.,		<i>Biochemistry and Biophysics Reports</i> 28 : 101181., 2021 <i>Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition</i> 69:52-60., 2021 <i>Journal of Clinical Biochemistry</i>

<p>DNA-deficient cells.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 17-β-estradiol enhances extracellular trap formation by interaction with estrogen membrane receptor. • Neuronal differentiation of human iPS cells induced by baicalin via regulation of bHLH gene expression. • The mannoprotein TIR3 (CAGLOC03872g) is required for sterol uptake in <i>Candida glabrata</i> • Differentiation of malignant tumours from granulomas by using dynamic [18F]-fluoro-L-α-methyltyrosine positron emission tomography • Phosphorylation of FOXp3 by LCK downregulates MMP9 expression and represses cell invasion. • Establishment and characterization of Roberts syndrome and SC phocomelia model medaka (<i>Oryzias latipes</i>). <p>(ほか17件)</p>	<p>Sato, E. F. ほか5名 Yasuda, H., <u>Morita, A.</u>, Sato, E. F. ほか6名 <u>Morita, A.</u>, Kawanishi, S., Sato, E. F. ほか3名 Inukai, T., <u>Morita, A.</u>, Nakayama, H. ほか5名 Yamaguchi, A., <u>Morita, A.</u>, Iida, Y. ほか9名 Nakahira, K., <u>Morita, A.</u>, Yanagihara, I. ほか1名 <u>Morita, A.</u>, Nakahira, K., Yanagihara, I. ほか8名</p>	<p><i>and Nutrition</i> 66:15-23., 2020 <i>Archives of Biochemistry and Biophysics</i> 663: 64-70., 2019 <i>Biochemical and Biophysical Research Communications</i> 465:458-463., 2015 <i>Biochimica et Biophysica Acta</i> 1851: 141-151., 2015 <i>EJNMMI Research</i> 5: 29., 2015 <i>PLoS ONE</i> 8: e77099., 2013 <i>Development, Growth and Differentiation</i> 54: 588-604., 2012</p>
<p>(学会発表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Roberts 症候群モデルメダカの作製と表現型の解析 • ヒト iPS 細胞の神経分化に対するバICALIN の作用 • Ste20 類縁プロテインキナーゼ SPAK の細胞特異的分布 • Ste20 類縁プロテインキナーゼ SPAK が神経芽細胞の神経突起伸長に及ぼす影響 • ¹⁸F-FAMT PET を用いた腫瘍/炎症性病変の鑑別診断の可能性 • HL-60 細胞の分化におけるミトコンドリアの役割 • Ste20 類縁プロテインキナーゼ SPAK が神経突起伸長に及ぼす影響 • PEM マウスモデルにおける中鎖脂肪酸の脳内炎症抑制効果 <p>(ほか11件)</p>	<p><u>森田明広</u>・長谷川妙子・柳原格 ほか7名 曾我康平・佐藤英介・<u>森田明広</u> 久保田貴裕・<u>森田明広</u>・堤智斉 ほか2名 川添愛梨・<u>森田明広</u>・堤智斉 ほか2名 瀬ノ口周一・<u>森田明広</u>・飯田靖彦 ほか9名 松尾あかね・<u>森田明広</u>・佐藤英介 ほか4名 <u>森田明広</u>・奥村太陽・伊藤正康・杉村昂祐・堤智斉 那須隆斗・平本恵一・<u>森田明広</u>・鈴木宏治・柚谷晃佑・木村五月・小島圭一・野坂直久・郡山恵樹</p>	<p>日本動物学会 第80回大会(静岡)2009 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会(鈴鹿)2013 第60回 日本薬学会東海支部学術大会(鈴鹿)2014 第60回 日本薬学会東海支部学術大会(鈴鹿)2014 第60回 日本薬学会東海支部学術大会(鈴鹿)2014 第60回 日本薬学会東海支部学術大会(鈴鹿)2014 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会(鈴鹿)2017 第138年会 日本薬学会(金沢)2018</p>
<p>(その他)</p>		